

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | トコロー福岡 福重店 新築工事 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 福岡県福岡市西区福重2丁目352- | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準住居地域 | 平均居住人員 | 292 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,380 時間/年 |
| 建物用途 | 物販店,工場, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年8月 予定 | 評価の実施日 | 2016年1月29日 |
| 敷地面積 | 4,761 m ² | 作成者 | 蔵原 佳代子 |
| 建築面積 | 3,199 m ² | 確認日 | 2016年2月1日 |
| 延床面積 | 5,370 m ² | 確認者 | 伊東 正太郎 |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|--|--|----------------------|
| <p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> | <p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | |
|---------------------------------------|--|---|
| <p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p> | | |
| <p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p> | <p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p> |
| <p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p> | | |
| <p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p> | <p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4</p> | <p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|---|
| <p>総合</p> <p>建物配置を国道からセットバックさせ、シンボルツリーを中心にしたロータリーとキャノピーを配置することで、建物の圧迫感の軽減と地域アメニティに寄付しつつ、お客様をやさしく迎える計画を行った</p> | <p>その他</p> <p>0</p> | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>深い庇によりショールーム内への直射日光を遮蔽し空調負荷の抑制を図っている。 内装建材にはF☆☆☆☆を採用し室内環境に配慮を行った。</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>バリアフリー法の基準を満たした設計を行った。 新車展示場にキャノピーを設置することで、雨天時にお客様が濡れることなく案内できるようにしている。</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物配置を国道からセットバックさせ、シンボルツリーを中心にしたロータリーとキャノピーを配置することで、建物の圧迫感の軽減と地域アメニティに寄付した計画としている。</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>深い庇によりショールーム内への直射日光を遮蔽し空調負荷の抑制を図っている。 LED照明と全熱交換器の採用によりエネルギー使用量の低減を図り、環境に配慮している。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>自動水栓や節水型便器の採用により、水資源保護に配慮を行った。</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>車輛の出入口を2ヶ所配置し入口と出口を明確に分離すること、敷地内のロータリーで車輛積載車の荷捌きと旋回ができることで、国道の渋滞緩和に寄付する計画としている。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される